

麻生不動院 川崎市麻生区下麻生 1-21-10

不動院は、応永年間に足利公方の庇護により不動堂を建立、嘉永二年（1849）年に王禅寺の末寺となりダルマ市が立ち多くの人々で賑わう。当寺の不動尊は、鎌倉二階堂大楽寺開山願行上人鑄造の不動明王で、木賊不動尊と称されるといいます。（境内掲示より）

本尊は不動明王像。木賊不動とも火伏不動とも呼ばれ、1月28日はダルマを売る店が多数出店されることから「関東の納めだるま市」とも呼ばれている。

